

# 発泡スチロールで文字ブロック制作

千葉県立大多喜高等学校 西川昇真

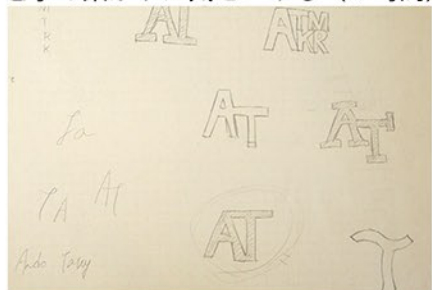
## この授業で付けたい力

文字のレタリングは平面の制作となるが、それを立体にすることによって構想力や発想力を鍛える。平面が立体になる事へ興味を持ちつつ、個性を発揮して作品を生み出す力を伸ばす。

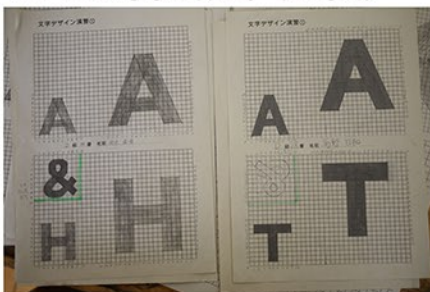
また、様々なパターンの作品が出来上がる事で、共通の条件からも人それぞれの多様な表現が生み出されることに気づき、美術への関心・意欲・態度、そして鑑賞の能力を伸ばしつつ感じ取っていく。

## 展開

①自分の名前を基本にして、イメージスケッチをする。字と字の繋がりに気をつける（1時間）



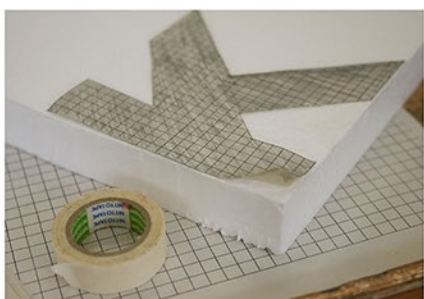
②方眼紙を使って文字をレタリングする。マス目を数えて字のバランスを均等に保つ。（2時間）



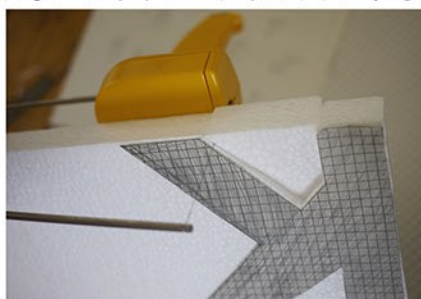
③レタリングした文字を紙から切り取って型紙にする。丁寧にまっすぐ切り取っていく。（1時間）



④発砲スチロールにテープで型紙を貼りつける。テープが紙からはみ出さないように気をつける。（④⑤で2時間）



⑤発砲スチロールカッターで垂直方向に気をつけながら切っていく。紙は切れないのでくっつけてガイドにする。



⑥イメージに沿ってアクリル絵の具で着色する。表と側面をうまく利用して表現する。（6時間）



## 観点別評価によるまとめ

### 芸術への

#### 関心・意欲・態度

成形や着色などの制作活動を積極的に行い、用具の使い方や作品の工程・表現方法の基礎を身につけながら、楽しく制作できている。

#### 発想や構想の能力

作品の条件から感性と想像力を働かせて、色と造形に優れ、個性を持った作品を発想しようとしている。

#### 創造的な技能

道具の使い方を理解し、自分の発想した作品を創意工夫し、美しく表現する事ができている。

#### 鑑賞の能力

作品についての意見をまとめ、自分の作品や友人の作品から、様々な表現や個性を感じ取っている。

## 感想

美術の授業ではより身近に制作や作品を感じてもらいたいと思い、雑貨屋で売っていた商品から題材を考案した。生徒たちは立体工作に戸惑いつつも、発泡スチロールという素材に興味を持って制作することができていた。展示の際は発砲スチロールの軽さを生かして、壁に低粘着の両面テープで貼付けた。普段と違った風景となり、展示による作品の見え方の違いも体感できていた。発泡スチロールの穴を塞ぐため、下地をモデリングペーストで試したが、ジェッソの方が早く終わり重さも軽いので、下地は代わりの方法を探したい。